

けん玉

十字の形のけん(剣)と、糸のついた玉が、つながっているおもちゃ。
世界各地にあります、現在の形は大正時代の日本で作られました。

(参考：日本けん玉協会ホームページ)

●遊び方

- まずは、玉を大きな皿へ乗せてみましょう。
- 玉をぶら下げた状態から引き上げて、お皿に乗せられたら成功！
- 持ち方はペンを持つように親指と人差し指でけんをはさみ、中指や薬指は下のお皿にそえましょう。
- ポイントは手だけでなく、ひざの曲げ伸ばしをすること。反動を利用して玉を動かそう！
- できたら、別のお皿でチャレンジしてみましょう。

●形について

「剣」 けんの部分には3つのお皿がついていて、大きさが少しずつ違ってきます。

左右に小皿と大皿が、持ち手の下の方に中皿があります。

持ち手の棒の先は細くなっていて「けん先」といいます。

「玉」 玉には穴が開いています。

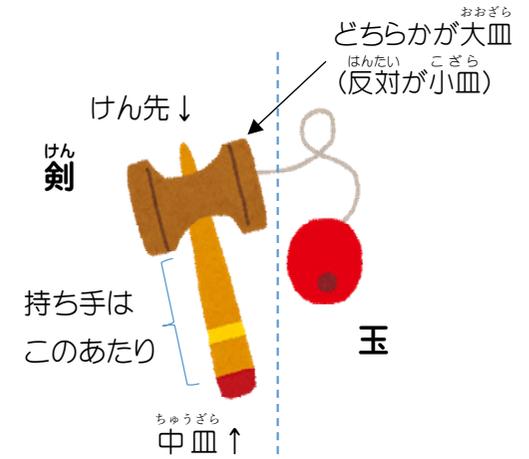
●いろんな技

「とめけん」…玉をぶら下げた状態から引き上げて、けん先を玉の穴に入れる。

「飛行機」…玉の方を持って、そのまま剣を静かに前に振り出して、逆さまに落ちてきたけん先を玉の穴に入れる。

「世界一周」…玉を引き上げて小皿・中皿・大皿と順番に乗せて、最後に「とめけん」をきめる連続技。

【注意】遊ぶときは、近くに人がいないかよくかくにんしよう！けん先は人に向けないようにしよう！



ひざをうまく使おう！

